

札幌聖ミカエル教会



表彰理由

この教会は1960(昭和35)年に建てられ、設計者は日本近代建築の先駆者であるアントニン・レーモンドです。途中で勾配が変わる大きな屋根とレンガの壁は大変印象的で、見る人に素朴で力強いイメージを与えます。建物内部も素晴らしいデザインで、丸太をむき出しで使用した自然で簡素ながら力強い小屋組、柔らかな光が漏れるレンガ積み目のスリットなどレーモンド建築の美しさを感じる建物です。その印象をさらに強くするのは、正面のガラス面に張られたモザイクの和紙です。これはノエミ夫人がデザインしたもので、ステンドグラスのような表情を与えます。建物周辺の芝生や垣根も良く手入れされ、周辺にも良い影響を与えています。この建物はレーモンドの作品の中で東北以北唯一の作品で、創建時のままの姿で保たれており、維持管理されているご努力に感謝申し上げます。

東田 秀美

- 所在地 東区北19条東3丁目
- 建設主 宗教法人 日本聖公会北海道教区
- 設計者 アントニン・レーモンド
- 施工者 株式会社 竹中工務店
- 完成年次 昭和35年